

## 公共施設をもっと地域のために使いやすく！

－宮前区地域デザイン会議－

令和4（2022）年12月10日（土）14:00～16:30

## 事前アンケート集計結果、公共施設の地域化に向けた課題

00:00:05

宮前区役所企画課 山田：

- 軽く、今聞いたお話を振り返らせていただきます。
- スージーさんのお話だと、区役所には色々な人がやってくるから市民広場ってすごく色々な人と触れ合える場だよ、という話をいただきました。今回テーマとして選んでよかったなと思いました。
- 川田さんのお話は、出張所を中心に本当に色々な人がつながって、使っているということが、すごくそういうことにもつながるのかなと感じました。
- 区役所もそもそも横のつながりがないということで、地域の方につないでいただいているというのはありがたいなと思いました。
- この二つの取組について話の中でもお話ありましたが、子育てフェスタについては市民館と地域と一緒に連携してやっている。
- 向丘出張所／川田さんの取り組みについて町内会の連合会があって、その実行委員会でということと出張所と一緒に連携して地域の方がやっているってところがすごくポイントだったと思います。
- 辻さんのところについては、本当に公園、屋外はすごく可能性たくさんあると思いました。去年やってみて、反対していた人も結構いたけど、今年はやりたい人がどんどん出てきたという意味で、本当にやってみるものの重要性をすごく感じたということなんです。

00:01:37

- 途中、「公園を使えない」言われたってところで、市民館の講座を受けたから後押ししてくれたという話があったかと思いますけど。
- それもすごく核心を突いていることです。これだとやはりその日、そこにいた職員とか、そのたまたまそこで講座があったというようなことによって、何とかその状況が生まれたってということだと、もう少しそこをうまく仕組みにしていけると、そういう偶然が重なってやっとならなくていいということではないことになると、公共施設がより使われていくのかなというふうに思いました。
- また、町内会がということをすごく強調されておりましたけど、公園ってそもそも公園管理運営協議会というところが日々の管理をちゃんとしてくれていて、だからこそ町内会[ということ]。花の台町内会だと[公園管理運営協議会]の中心を町会が担っているということがポイントなのかなと思います。

- はい、そんなところを聞いていて感じました。みなさま本当にありがとうございました。

00:02:40

- 続いて、次のプログラムですけど、事前に参加の申し込みをいただいた時にアンケートお答えいただきました。それを簡単にご紹介させていただきたいと思います。ご協力いただき、ありがとうございました。
- 行政側も、もっと施設を使ってもらえればと漠然とは思うものの、どういうニーズがあるのかが分からないと動きだせないっていうところもありまして、今後の参考にさせていただけたらと思います。
- まず、皆さん、今回の何個でも選べるような形になっておりましたが、一番「もっと使えたらいい」と思うと答えたものについては、公園が一番多く、7回答でした。
- 次に学校、市民館と続きました。
- [文字が] 小さいので、お手元の資料を見ていただければと思いますけど、かなり詳しく見ますと公園というところでいいますと、他団体の交流や連携の場とか、地域資源の可視化の場ですとか、孤独な子どもなど、子どもの抱える問題も察知できるかも。ということで、地域のことがすごく見える化される場なんじゃないかというご意見があったと思います。
- また、公園ならではのところでいうと、大人が子どもに遊び方を伝授するようなことができると楽しいいいよねとか水や火を使った活動とか冒険遊びとか、プランターの寄せ植え講座などもできるといいんじゃないかというようなご意見がありました。

00:04:07

- 学校については、やはり地域の拠点としての可能性、すごく貴重な所だよ、というようなところを回答から感じました。
- 続いて市民館は、市民館やはり空間としての強みをすごく感じる、大ホールなどですね。こういったところを感じました。あと、講座、マルシェ、発表の場、イベント、映画の上映とか、こういった意見が多いように感じました。

00:04:40

- 続いて図書館は、本ってすごく強いコンテンツなのだと回答を見ながら感じました。視覚障害者のみならず、加齢や病気によって印刷物を目で読めない方のための活動とかができたらいいんじゃないかとか。
- 読み聞かせや紙芝居などを定期的に行うことで、地域のママがつながる場ができたらいいんじゃないかとか、お泊りして本とたわむれたいというところもあって、すごい楽しそうだな、やってみたいなと思いました。

00:05:10

- 続いて、区役所は先ほどもスージーさんからお話がありましたけど、たくさんの方が訪れるという意味でも活動をアピールするとか、そういったところの強みがあるのかなというふうに思いました。

- 道路についても、人が出会い・共有する出会いの場としてっていうご意見がありました。

00:05:27

- 続いて、地域子育て支援センター、こども文化センターはそれぞれ2、1とありますけど、ここについてはやはり子どもというターゲットが明確になっているってところが、すごく大事なのかなと思いました。子育てに役立つ講座などのご意見がありました。
- 出張所については、先程川田さんからもありましたけど、公共施設なので、一つの団体の活動にならないようにというところのご意見がありました。
- その他、区役所市民館図書館の跡地についての関心があるよとか。フロンタウン鷺沼、これは市の敷地を借りて民間が運営をしているという施設ですけれども、こういったところにもこう興味があるよっていうことで、民間の施設でいうと例えば、駅前広場とかそういったところも色々な活動をしていくためには、着目されるところなのかなと思いました。
- 後ほど、是非ご覧いただければと思います。アンケートをご協力いただきまして、ありがとうございました。今後ぜひ次のステップに活かして行きたいと思っています。

00:06:32

- 駆け足で進みますが、これが前半最後のプログラムです。ここまでは、公共施設の可能性をみなさん感じられたんじゃないかなと、私もすごく改めて感じました。
- 突然、ちょっと急に後ろ向きにこれから聞こえる話をさせていただきます。ただご理解いただきたいのは、これから課題についてお話しますが、前向きに進めていきたいと思ってこの話をするので、是非お付き合いいただければと思います。
- 一緒に皆さんとどうやったら、この課題を乗り越えていけるのかという会に、是非していきたいと思っています。
- 皆さん公共施設を利用しようとする、役所から色々とうるさいこと言われたこと、多分経験がおありだと思います。うなずいている方もいらっしゃるんですけど、我々も皆さんに意地悪しようと思っていてわけではなくて、色々な基準なり、色々な理由があって、そういうことになっているっていうことをぜひご理解いただければと思います。

00:07:41

- まず1点目は、一口に公共施設といっても、施設ごとに縛られている法律や条例や規則等が違うということ。これ結構読んでいくと大変で、とても追いつかないです。
- 例えば、庁舎とか公園ってところを例に挙げてみました。例えば、公共施設でものを売りたいってなった時に、庁舎と公園では、取り扱いが異なります。
- 庁舎の場合は、庁舎管理要綱というのがあり、営利を目的とした不特定多数への無秩序な物品の販売は許可しない、ということが基準上、明記されています。
- 公園についてはそういった基準などはありません。ただ、公園でものを売ろうとすると「それはダメだよ、営利だから」ともしかしたら言われるかもしれません。基準上は、直接的に営利がダメ、といった理由ではなく、他のところに理由があるということを知っていただければと思います。

- この基準自体を皆さんに一つ一つ読み込んでくださって言うのはとても難しいと思います。施設ごとに種類ごとに基準が異なるということをぜひ知っていただいて、何かやろうとした時にはその施設ごとに対応策が違うということだけをご理解いただければと思います。
- また、職員も、[地域の方に]やらせてあげたいと思っても、こういうところで引っかかってできていないということを、ぜひご理解いただければと思います。

00:09:22

- 続いて、施設の立地・利用状況や対象とする圏域の違い、と書かせていただきました。
- 先程出張所がすごく活用されているという事例がありました。区役所と出張所は同じ庁舎なんですが、区役所の会議室については平日いっぱい、我々も予約しようとする会議ができないくらい予約ができない状況になっています。
- 一方で、出張所では会議室が比較的空いてるところもあって、あのような活動によって地域の人たちに使ってもらいやすいという状況が生まれている。そこによっても、貸しやすさが全然変わってくる。対応策が変わってくるというところをご理解いただければと思います。
- また、老人福祉センターと老人いこいの家は、両方とも老人を対象とした施設ですが、いこいの家は区に5つぐらいあり、より狭いエリアを対象としているっていうところも、やれることや使う人の対象が変わってきます。
- そういった施設の利用状況などによっていろいろとできること、やり方が変わってくると思います。

00:10:27

- 3つ目、セキュリティを担保するためのハードの整備状況です。
- 宮前区役所の会議を例えば貸そうとした時に、区役所の4階に会議があるので、4階まで行くためには色々なところに入れてしまう状況があります。
- 出張所や宮前区役所にもある区民活動支援コーナーについては、比較的セキュリティーが担保されている。
- 区役所は特に個人情報がたくさん扱いますので、そこをすごく気にするところです。学校も多分そうだと思います。そこも一つのハードルになっています。
- では、ハード整備すれば良いではないかと言われてしまうと、全く前に進まなくなってしまうので、そういう状況を踏まえてどういうふうに個別に考えていくかというところを検討する必要があります。

00:11:19

- 4つ目、公共性・公平性・信頼性の担保です。
- これがすごく難しいところです。先ほども出ていた色々似たような話が出てたと思います。
- 例えば、子どもたちが楽しめそうで、そこにいたら親御さんも息抜きになります。けど、そこでは物販は伴っていたとします。これって公共性があるって言えるのかな。
- 町内会自治会だったらもう常にお世話になっているので、すごく信頼できてお貸しできるけど、例えばすごく元気で一生懸命やっていて、しかもこの取り組みで地域に貢献してるような市民活動団体

が来た時に貸していいのかな。

- じゃあ、他の団体から言われた時にどういうふうに対応しようか、困っちゃうな。
- というようなところはすごく判断が難しいです。
- そこは他団体とどう違うのかとか、どのように基準にするのと言われると、すごく難しくて、そこをどうやって越えていくか、その難しいところをどうやって判断していくかというところが、実はポイントになっています。

00:12:33

- 最後ですけど、地域の皆さんと理解ということで先程もありましたが、何かやっていると言っていると音がうるさいとか、ボール遊びは危ないからやめてほしいとか、人がたくさんいると歩道が歩きにくいと。こういった話はやはり施設管理者の方にいってしまいます。
- これ自体はすごく皆さん当たり前で、気を付けなければいけない、真っ当な意見なので、当然施設管理者としても無視できない。こういったところをどうやって地域で合意形成してこういったことができる環境をつくっていくかということも、すごく重要なポイントだと思います。

00:13:10

- 精神的な話になっちゃいますが、皆がそれぞれが、地域も行政も、地域同士もお互いに理解を深めながら、一步一步進めていく。「これはいいよね」という事例を積み重ねていくことがすごく重要だと思っております。
- これだけ地域活動が豊かで、色々なことを考えることにも熱心な宮前区であれば、いい方向に進めていけるのではないかと考えております。ぜひ今日の機会をきっかけに進めていければと思っております。
- 前半のプログラムはここまでで、10分間の休憩を挟んでワークショップに入りたいと思います。

[休憩]

00:14:03

宮前区役所企画課 滋野：

- 後半のワークショップを行います。ワークショップに当たりましては、区役所の職員もグループに入りまして、ファシリテーターを務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
- また、記録については、石塚計画デザイン事務所の千葉さんと吉川さんをお願いしております。
- グループワーク終了後、3分程度で各グループの発表をしていただきます。各グループのどなたか発表する方をよろしくお願いいたします。
- では、詳しくは山田からお伝えさせていただきます。

00:14:38

宮前区役所企画課 山田：

- グループワークの時間を取りたいので、説明は簡単にいきたいと思います。今回、市民広場をお試しで活用してみようということで、まず市民広場から取り上げて進めていきたいと思っています。
- 市民広場はいい事例になって、次にさらにつなげていきたいと思っています。市民広場を選んだ理由ですけれども、使ってみたいというご要望がよく寄せられるということと、区役所の所管施設というところもあって、より横の連携がとりやすいということで始めてみたいと思っています。
- あと、これは区民祭の様子なんですけど、宮前区にとってはすごく貴重な場所。こういう場所ってあまり区内にないのかなと思っていて、より使われるような、さらに使っていける状況にしていきたいなと思っています。
- これは、「ラブみやまえ」というまちづくり協議会の皆さん、今日もお越しになってくださっている方がたくさんいますけれども、その様子で、この日雨が降っちゃって当日予定通りには行かなかったんですけど、それでも先ほど流していた音楽ですとか、野菜の販売ですとか、すごく盛り上がったのかなと思っています。

00:15:45

- ということで、この貴重な空間をうまく生かしていきたいというところなんですけれども、最初に説明した通り、お試しをできれば4月ぐらいまでにやって、大事なのはその後で、そこで出た課題とか良かったことなどを検証して、どういった仕組みにしていくかというところを次のステップとして考えていきたいと思っています。
- 今回やったイベントは、そのまま継続的にできるということではなくて、そういうことをやったことによって、どんどん市民広場がいい場所だねってなって、さらに新しい人が入ってきて、いい状態でより公共施設が使われていくというサイクルをどうやって生み出していくのか、そういう仕組みがどうやったらできるのかというところを、次のステップとしてはぜひ考えていきたいと思いますので、ぜひ引き続きお付き合いいただければと思います。

00:16:28

- 広場について気にしてほしいところを、一応、最初にご説明させていただきます。
- 市民館、区役所など施設利用者への配慮が必要ということで、ずっと見ていると、大ホールで合唱コンとかがあると、ホワイエ的にすごい人が溢れていたりとか、細かいことなんですけど、そういうところへの配慮とか、日々そこで憩われている方とか通行されている方っていうところの配慮が必要だなとか。
- あと安全面は建物がガラスで囲われていたりとか、下に駐車場があったりとか、そういうところはすごく配慮しなきゃいけないですし、この近くにもお住まいの方がいらっしゃいますので、そういうところの配慮もすごく重要になります。そこは少し意識していただければと思います。

00:17:16

- グループワークのポイントですけれども、ぜひみんながワクワクすることとか、喜ぶことをぜひ企画

していただけるとうれしいなと思います。

- また、公共性の視点で、公共施設なので、こういう意義があるよというところを少し意識してみる、あとは先ほど言った広場を取り巻く環境を考慮した対応を考えてみてください。
- 最後に、ぜひ実現して検証につなげていきたいと思いますので、皆さんで何ができるかとか、ここにいない誰のお力を借りればこれができるかというところも、ぜひ積み上げていただけるとすごくいいなと思っています。

00:17:54

- ということで、グループワークに入っていきたいと思います。
- Bの方は滋野さん。Aは私が入って、あと吉川さん、こちらは千葉さんが入りますので、よろしくお願ひします。
- 職員も各グループにつかせていただきますので、ワークショップに入りたいと思います。よろしくお願ひします。